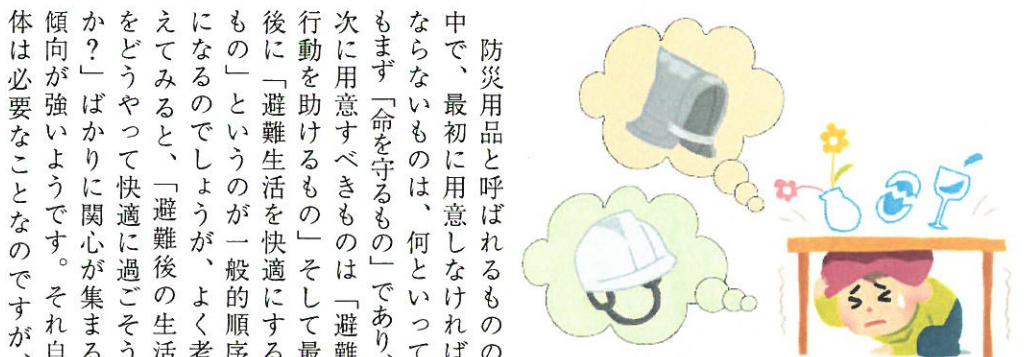




防災グッズは災害を防がない?

すくも
自主防災会だより
第11号

防災グッズといわれているもののほとんどは、直接災害を防いでくれるものではありません。家屋の倒壊と室内における家具などによる圧死・傷害が地震災害被害のほとんどであるという現状から考えて、災害からわが身を守つてくれる本当の防災用品とは、第一に建物の耐震性強化にかかるものであり、次いで、寝室を最重視した家具・家电などの固定具などであり、そしてヘルメットなど地震災害が身体に直接被害を及ぼさないようになるもの。そのほかにも、靴、ライト、警笛などが有益なグッズといえるのでしょうが、災害からわが身を守ってくれるグッズというものは、意外と少ないと気付きます。



けです。これらの前提をクリアすることに執念を持たずして、その後の避難生活の快適性ばかりを追求すれば、それは実際的な意味を持たない随分とこつけいな話になるわけです。これらの優先順位はえてして誤解されやすいものとなっていますので、注意を要しますね。



防災用品と呼ばれるものの中で、最初に用意しなければならないものは、何といってもまず「命を守るもの」であり、次に用意すべきものは「避難行動を助けるもの」そして最後に「避難生活を快適にするもの」というのが一般的順序になるのでしょうか。よく考えてみると、「避難後的生活をどうやって快適に過ごそうか?」ばかりに関心が集まる傾向が強いようです。それ自体は必要なことなのですが、あくまでも「激震から生き延びて生存する」ことが大前提であり、また津波被災が考えられる地域に生活する者にとっては「津波からの迅速避難を容易ならしめる術を担保する」ことが次の前提となるわ

宿毛市自主防災会連絡協議会
役員代表 河野典生

宿毛湾港池島地区防波堤(Ⅱ)築造工事における航路変更のお知らせ

